



平成30年 2月
尚徳福社会 生麦保育園

新年が明け、早くも一か月が経ちました。一年で一番寒い時期となりましたが、「まだお外出ないのー？」と寒さよりも外で遊びたい気持ちの強い子どもたちです。これからはインフルエンザが流行する時期でもあります。手洗い・うがいをしっかりと行い、健康に過ごしていきたいですね。



発見！

大雪が降りました。霜柱や池などに張る氷もこの時期ならではの現象です。散歩に行った際に霜柱をたくさん見ることができ、「これなーに？」と不思議そうにしていたのですが霜柱と教えてもらおうと「氷なんだね」子どもたちなりに理解をしていました。

霜柱を手にしてみたり、地面を足踏みをして冷たさやどんな音がするのかを楽しんでいました。



こわくないぞ！！

2月2日に節分の豆まきをします。その時につける鬼のお面を作り、節分の日を楽しみにしています。画用紙を折り、鬼の輪郭に。眉や目などのパーツをつけさまざまな表情の鬼たちができました。鬼が来たら「やっつけてやるんだ」と意気揚々と口にしていた頼もしかったです。

はじめての…

一つ目の「はじめて」は、キリンビールまで散歩に出掛けました。少し長い距離を歩くことを伝えると、「大丈夫だよ！」「もう4歳だから平気だよ！」と力強く答えてくれました。出発してからもみんなで歌をうたい楽しげに歩いていました。キリンビールの広場に着くと嬉しそうに駆け回ったり、斜面を寝転がって下っていったりと全身を使ってのびのびと遊んでいました。帰る時間になると「えーまだ遊びたいー」と元気な子どもたちでした。もっといろいろな所に行きたいと思います。

二つ目の「はじめて」は、お買い物ごっこです。2月16日のごっこあそびに向け、生麦保育園のお金、「ベイ」を使ってやりとりを楽しみました。今回は、鬼のお面を作る時のパーツを商品にしました。鬼の眉はオレンジのベイ、顔の画用紙はピンクのベイなどパーツごとに払うベイの色を決めて買い物ごっこをしました。「これください」と少し照れながらもそれぞれの色のベイを払ってパーツをもらうことができ、もらったパーツで細かいものは事前に作ったお財布に入れたりして無くさないように自分たちで管理する姿も見ることができました。自分で作ったお財布は嬉しかったようで自由あそびの中でも、ままごとコーナーのおもちゃを商品にして子どもたち同士でやりとりを楽しんでいましたよ

